

小学校 第6学年 図画工作 わたしのお気に入りの場所

(開隆堂出版 ゆめを広げて5・6下)

○題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解する。 - 材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。	造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから、自分の見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうと共に、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする。

○探究の過程

①課題の設定	お気に入りの場所の写真を撮影する活動や、その場所の思い出を共有する活動を通じて、お気に入りの場所をどのように表現すればよいか考える。
②情報の収集	これまでの画材の使い方や描き方と、友達の表現方法をJamboardなどで共有し、イメージに合わせた描き方を探す。
③整理・分析	自分の描いている作品がイメージに合った表現になっているか考える。
④まとめ・表現	撮影してきた写真を基に、自分で作品紹介をすることで、イメージや思いの工夫を捉える。また、互いに作品紹介を見合い、次の作品づくりに生かす。

○単元計画(4時間扱い)

時	目標	学習活動	探究の過程
1	自分のお気に入りの場所について表し方を考えることができる。	- 校内の様々な教室を撮影し、自分のお気に入りの場所を決める。 - お気に入りの場所についての思い出を共有する。 - お気に入りの場所の中でも、特に描きたい部分を考え、その場所のイメージをつかむ。	① 
2	これまで学習した描き方や、友達の表現方法から、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表すことができる。	- これまで学習した描き方を復習する。 - 友達の描き方を共有する。 - 実際に絵を描きイメージに合う描き方を探す。	② 
3	風景の奥行きや色の鮮やかさを考えながら、お気に入りの場所の描き方のイメージを深め、描くことができる。	- イメージに合う描き方で実際に絵を描く。 - 自分の描いた作品がイメージに合った表現になっているかを考える。	③ 
4	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、自分の作品づくりを振り返ることができる。	- これまで撮影した作品の制作過程をスライドにまとめ、作品の紹介を考える。 - 友達の作品紹介を見て、そのよさや工夫を感じ取る。	④ 

第6学年 図画工作科学習指導案(第1時)
【①課題の設定 単元や節を貫く課題を設定させタイ】

1 題材名「わたしのお気に入りの場所」(開隆堂出版 ゆめを広げて5・6下)

2 本時の計画

目標	自分のお気に入りの場所について表し方を考えることができる。
探究の過程 課題の設定	お気に入りの場所の写真を撮影する活動や、思い出を共有する活動を通じて、お気に入りの場所をどのように表現すればよいか考える。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 10分	1 本時の学習のめあてを知る。 ○私のお気に入りの場所というテーマで絵を描いていきます。校内にありますか。 ◆校庭がいいな。 2 Jamboardを活用し、お気に入りの場所を共有する。 ○お互いに思い出の場所を共有しましょう。 ◆体育館。よく遊んだからね。	一斉 一斉	◎担任の小学校の思い出の場所を聞いたり、低学年の頃の写真などを見たりしながら、自分の思い出の場所を考えさせる。 ◎自分が選んだ場所の写真と、その思い出やその場所を選んだ理由を友達と共有する。
私のお気に入りの場所を決め、描きたいものを考え、紹介をしよう。			
展開 30分	3 思い出の場所の写真を撮り、描く対象を決める。 ○自分が撮ってきた写真から、気になるものや描きたいものをまとめましょう。 ◆体育館。床の色やライトとかかな。 ◆教室。黒板のイメージ。 ◆図書室。テーブルが白いのに、たくさんの本の色が入る感じ。 4 表したいイメージを考える。 ○つながり図を使い、描きたいイメージをまとめましょう。 ◆体育館は明るい感じがするので、黄色や明るい茶色のイメージ。 ◆図書室はテーブルが白い。本の背表紙は色々な色があるので対比させる感じ。	グループ グループ	◎写真の中から目立つ物や特に描きたい物をたくさん書かせる。 例 図書室・・・テーブルの色、本の背表紙のイメージなど ◎イメージが出てこない場合は、教科書等の作品から、「これは何を中心に描いているかな」などを問い掛け、描いた人の気になるものや描きたいものを書かせる。 ◎チャートや図などを活用してまとめさせてもよい。(国語で活用するつながり図など)
終結 5分	5 学習を振り返る。 ○イメージ図をかくことで、次時以降描きたいものをしぼっていきましょう。 ◆イメージ図をかくと色の雰囲気が決まった。	一斉	◎今後友達の見意見を自分の作品づくりに生かすことや毎時間作品を撮影することを伝える。

課題の設定



第6学年 図画工作科学習指導案(第2時)
【②情報の収集 課題解決に必要な情報を集めさせタイ】

1 題材名「わたしのお気に入りの場所」(開隆堂出版 ゆめを広げて5・6下)

2 本時の計画

目標	これまで学習した描き方や、友達の表現方法から、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表すことができる。
探究の過程 情報の収集	これまでの画材の使い方や描き方と、友達の表現方法をJamboardで共有し、イメージに合わせた描き方を探す。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 5分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 前時までの振り返りをし、本時のめあてを確認する。 ○前回書いたイメージ図や写真を基に、描き方や表し方を考えましょう。 ◆色は決まったから構図を考える。	一斉	◎イメージや構図、色を考え、それに合わせた表現方法を選んだり組み合わせたりすることを確認する。
友達の表し方からイメージを広げ、自分の作品で使いたい描き方を見付けよう。			
展開 30分	2 友達の作品でどのような表現をしているか、グループで話し合う。 ○友達の作品を見合い、工夫や描き方について話し合いましょう。 ◆昇降口を描いた作品では、廊下の長さがよく伝わるような描き方をしている。 ◆上から見た構図にすると面白い。 ◆物の形をはっきりさせたいから、なぞりの線をはっきり描く。 3 学んだことを生かして、自分のお気に入りの場所のスケッチをする。 ○友達の工夫も取り入れながら、スケッチを始めましょう。	グループ	◎まずは使っている画材について話し合い、その後これまで習った表現方法、気付いたことを話し合う。 ◎どういう場面で、筆の太さを変えるかや、水の量による印象の違いなども動画などで紹介する。 ◎自分たちの選んだ作品例の工夫や、よいと思った点をJamboardで共有する。 情報の収集 
終結 10分	4 Jamboardで共有し、次時の作品づくりに生かす。 ○学習を振り返りましょう。 ◆友達と同じ場所を描いたけど、構図が違っていたことに気付いた。	一斉	◎スケッチしたものをお互いに見られるようにして、描き方のアイデアを共有させる。 ◎毎時間自分の描いたものを画像として記録し、自分の作品の変化を見取ることができるようにする。

第6学年 図画工作科学習指導案(第3時)

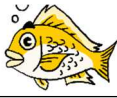
【③整理・分析 情報を整理させタイ】

1 題材名「わたしのお気に入りの場所」(開隆堂出版 ゆめを広げて5・6下)

2 本時の計画

目標	風景の奥行きや色の鮮やかさを考えながら、お気に入りの場所の描き方のイメージを深め、描くことができる。
探究の過程 整理・分析	自分の描いている作品がイメージに合った表現になっているか考える。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 5分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 前時までの振り返りをし、本時のめあてを確認する。 ○自分の描いたものを振り返り、作品づくりに生かしましょう。 ◆前回までの描き方を振り返ると、イメージよりも色が薄くなってしまっている。 ◆同じ場所を描いている人の描き方ももう少し参考にしたい。	一斉	◎前時までにまとめた画像等振り返り、自分が表したい方法を考える。 ◎1時間目で自分がまとめたイメージに合っているかを考えさせ、合っていない場合は、そこから変えられるところを考えさせる。 整理・分析 
たくさんふくらんだイメージを作品に表そう。			
展開 35分	2 学んだことを生かして、自分のお気に入りの場所のスケッチをする。 ○これまでの学習を生かした作品に仕上げましょう。 ◆うまく描けなかったけど、友達の描き方を見てやり方が分かった。 ◆色の使い方をまねしたい。	個別	◎黒板に作品例を掲示したり、児童の作品の画像を映したりするなどして、作品づくりの参考にできるようにする。 ◎筆遣いや表現方法などで共有した方がよいものがあればタブレットで撮影し、他の児童も見られるようにする。 ◎制作の途中であっても、自分の作品を撮影したり、描き方の工夫を動画で撮ったりする機会を設け、児童相互でアイデアを共有する時間を設定するのもよい。 整理・分析 
終結 5分	3 作品を撮影しJamboardで共有し、次時の作品づくりに生かす。 ○今日の学習を振り返りましょう。 ◆この間よりはイメージに近づいた。 ◆友達の構図を取り入れたい。	一斉	◎自分の作品を毎時間撮影し、それを自分の作品紹介で使用することを確認する。

※ 実態に応じ作成時間は増える場合があるが、その場合でも毎時間の終わりに撮影をさせ、共有する場面を設定する。

第6学年 図画工作科学習指導案(第4時)
【④まとめ・表現 相手意識を持った表現活動をさせたい】

1 題材名「わたしのお気に入りの場所」(開隆堂出版 ゆめを広げて5・6下)

2 本時の計画

目標	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、自分の作品づくりを振り返ることができる。
探究の過程 まとめ・表現	撮影してきた写真を基に、自分で作品紹介をすることで、イメージや思いの工夫を捉える。また、互いに作品紹介を見合い、次の作品づくりに生かす。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 5分	1 前時までの振り返りをし、本時のめあてを確認する。 ○描いた作品を振り返り、作品の紹介の準備をしましょう。 ◆完成した作品をどう紹介するかイメージができない。 ◆最初にどんなことを考えたか思い出さないと書けない。	一斉	◎前回までに撮影した自分の作品の画像を見て、作品紹介に使えるものを選ばせる。 ◎作品を作る際に工夫したことは、1時間目に考えたイメージと合わせて考えるようにする。 ◎友達の作ったものを見て参考にしてもよい。
自分の作品について紹介をしたり、友達の作品のよさを味わったりしよう。			
展開 30分	2 イメージをどう表現したか考える。 ○作品の紹介をするために、自分のイメージをどう表したか説明を考えましょう。 ◆自分は光の入った音楽室を表現するために、白い印象の作品にした。 ◆木の床は、モザイクみたいな模様になっているから、色の違いを考えて描いた。 ◆ふんわりした感じにしたいから、クーピーを薄く使った。 3 作品紹介のスライドを作成し紹介する。 ○スライドを作成し紹介しよう。 ◆落ち着くし、本の背表紙の色の多さが好きだから図書室を選んだ。テーブルの白と本の色を対比させたかったので、輪郭をはっきりさせ、床は淡い感じに表現した。	個別 グループ	◎自分がどんなイメージをもったのかを確認し、その後、そのイメージを表現するためにどのように工夫をしたのかをまとめる。 ◎うまくイメージをまとめられない児童がいた場合は使った画材を思い出させてなぜそれを使ったのか考えさせる。 ◎それぞれの工夫や意図をはっきりさせるために「その場所にした理由」「自分の考えたイメージ」「それを表すために工夫したこと」を発表させるようにする。
終結 10分	4 学習を振り返る。 ○互いの作品を見合い、次の作品制作に生かせるようなポイントを見付けましょう。 ◆同じ場所を描いても構図が大きく違うと印象が違う。 ◆明るさを表現する方法が分かる作品があった。	一斉	◎作品の出来栄だけでなく、相手の考えた工夫やイメージに着目させたり、同じ場所を選んだ人と自分の違いなどを捉えさせたりし、自分の次の作品づくりに生かせるように指導する。

まとめ・表現

